

仙台市東部沿岸地域ツアー

しんはま  
新浜を歩く

里浜の自然を  
訪ね、知る！

10月23日(土) 9:00-13:30 \*詳細裏面

○集合・解散\_\_せんだい3.11メモリアル交流館(地下鉄東西線荒井駅舎内)

○募集人数 \_\_15名【先着順】

○持ち物 \_\_参加費300円(保険代、事前郵送の資料代等)

市営バス代(往復580円)

昼食(各自おにぎり・サンドイッチなど食べやすいもの)

飲み物

仙台市宮城野区の東端に位置する新浜地区は、十七世紀初頭から400年の歴史を歩んできた海辺の集落です。

双眼鏡を片手に、秋の里浜を歩いて目指せ!? トータル一万歩!

採りたてサツマイモのお土産付き。

## 【当日の行程】

\*変更になる場合もあります \*悪天候が見込まれる場合は、前日にご連絡の上、中止いたします  
\*新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で実施します(マスク着用、消毒、検温にご協力ください)

### 9:00 メモリアル交流館集合(地下鉄東西線荒井駅舎内)

受付後、交流館スタッフが立体地図で位置関係を説明。

### 9:13 バス停〔荒井駅〕1番から市営バス『岡田・新浜行』乗車

車窓から岡田小学校や“津波避難タワー”などが見えます。

### 9:31 バス停〔新浜〕下車

### 9:40 “新浜みんなの家”に到着

里浜案内人のみなさんをご紹介します。参加者1人に1つ双眼鏡をお渡しし、使い方を説明。

### 10:00頃 出発

震災後に手つかずで保護されてきた希少な生態系湿地「汀沈釜(ちょうちんがま)湿地」を目指し、道々案内人のみなさんの解説を聞きながら、秋の新浜を歩きます。

“みんなのグラウンド”でトイレ休憩。

### 11:20頃 「汀沈釜湿地」到着!案内人・平吹先生のお話を聞く

運が良ければクロベンケイガニに遭遇。

### 12:00頃 歴史遺産「貞山堀(ていざんぼり)」の土手に座って昼食

昼食後、“避難の丘”を右手に見て、“みんなの木道”を渡り、別ルートを散策し、“新浜みんなの家”へ。



### 13:00頃 “新浜みんなの家”到着

ツアーのふりかえり、自然農園MITUさん作サツマイモのお土産贈呈。

### 13:11 市営バス『荒井駅行』乗車

### 13:29 バス停〔荒井駅〕到着・解散



汀沈釜湿地…池沼と湿原、草地、針葉樹と広葉樹が入り組む不思議な生態系の湿地。水域と陸域が錯綜する、被災からよみがえりつつある生物多様性ホットスポット。

## 《里浜案内人》

### ○新浜町内会(しんはまちょうないかい)

現在約70世帯が暮らす、海辺に一番近い宮城野区新浜地区の町内会。沿岸部へ訪れる人を増やすため、貞山運河の渡し舟や新浜フットパス、大学と共催で自然と歴史の勉強会を開催するなど、新浜の魅力をまちづくりにつなげる試みを続けている。

### ○平吹喜彦(ひらぶきよしひこ/東北学院大学 教養学部教授)

専門は、生物、地形、気候そしてヒトが生み出すランドスケープを読み解き、ベストな利活用をめざす景観生態学。大震災直後から新浜の海辺に通い、自ら再生する多様な生態系を記録し続けている。

### ○高橋千尋(たかはしちひろ/仙台市公園緑地協会レンジャー)

レンジャーとは自然と人との仲立ちをする人のこと。日本語では自然解説員、自然案内人などと訳される。太白山自然観察の森、青葉の森緑地、野草園勤務を経て、2021年度から仙台市海岸公園センターハウス勤務。

\*全行程をせんだい3.11メモリアル交流館スタッフが同行します

【申込み・お問合せ先】\*電話またはメールにて

せんだい3.11メモリアル交流館 [TEL] 022-390-9022 [Email] office@sendai311-memorial.jp

[所在地] 仙台市若林区荒井字沓形85-4(地下鉄東西線荒井駅舎内)

主催\_せんだい3.11メモリアル交流館 協力\_新浜町内会、仙台市海岸公園センターハウス



企画展『Voice -仙台市東部沿岸地域の伝承と物語』2F展示室で開催中(～2022年2/13まで) 10時-17時 入館無料